

2013 年度セミナー 「化学産業における防災・減災・危機管理」

主 催：(公社) 化学工学会 中国四国支部、中国地区化学工学懇話会

協 賛：(公社) 化学工学会 戦略企画センター 次世代エネルギー社会検討委員会

趣 旨：人類はこれまで自然災害や経済活動に伴う事故を経験し、それを克服するすべを産み出し、その英知を蓄積してきた。私達の生活基盤に有形・無形のかたちでその英知が浸透しているものもあるが、時代に即した技術や思想・哲学により、災害や事故に備えた対策を継続的に講ずることが求められている。

本セミナーでは、私達が身近なこととして経験した大地震を教訓とし、大規模災害につながりかねない事態に対して、社会的影響の大きな化学産業はどのような対策をし、また減災につながるシステムを構築していくべきなのかなど、本地域ではあまり議論されていない視点で、防災・減災・危機管理について議論します。この議論を通して、日本の化学産業の継続的な発展を支えるシステムのあり方や、それを動かす人・現場力を展望し、化学産業の事業継続性について考える契機としたいと考えます。

開催日時：2013 年 11 月 22 日 (金) 10:00～17:05 (交流会 17:30～19:30)

開催場所：三菱レイヨン株式会社大竹事業所 レイヨンホール 2F
(〒739-0693 広島県大竹市御幸町 20-1)

定 員：150 名

アクセス：JR「広島駅」から JR 山陽本線岩国方面 (約 1 時間)
「大竹駅」下車、徒歩 19 分 (1.6km) (図 1 参照)
* 駐車場の関係から車でのご来場はご遠慮ください。

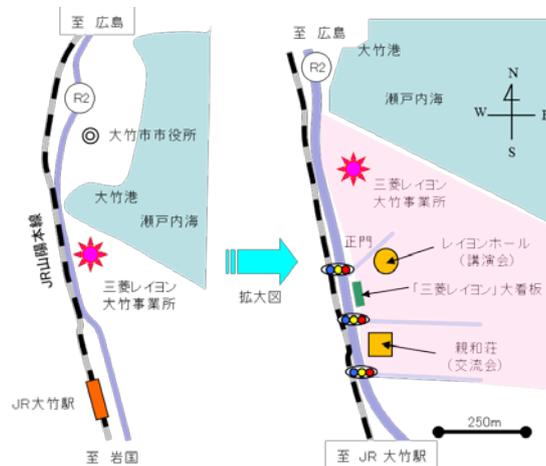


図 1 JR 大竹駅から講演会会場までの地図

プログラム：

主催者挨拶 (10:00～10:10)

広島大学大学院工学研究院物質化学工学部門 教授 福井 国博 氏

〔講演会〕 (10:10～17:00)

1. 「東日本大震災の総括・振り返りと今後の巨大地震に備えた防災・減災対策について」(10:10～10:50)

JX 日鉱日石エネルギー株式会社 総務部 危機管理グループマネージャー 山西 貞三 氏

3.11 の東日本大震災において、仙台製油所が津波により全域浸水し、また、火災も発生する等、甚大な被害を受け、全面復旧までに約 1 年を要した。こうした経験を経て防災対策として何が不足していたのか反省を行い、今後発生が想定されている南海トラフ巨大地震や首都直下地震に備えるため、現在、取り組んでいる防災・減災対応の概要および有事の際にも製品を供給し続けるという社会的責任を果たすための取組みについて紹介する。

2. 「都市ガス業界及び広島ガスの震災への対策と対応について」(10:50～11:30)

広島ガス株式会社 導管事業部 供給設備部長 石森 豊成 氏

日本の都市ガス会社は全国大小 209 社あり、その各社の取りまとめ役として日本ガス協会が組織されている。平成 23 年 3 月に発生した、東日本大震災においても、日本ガス協会からの要請を受け、全国各社が復旧応援要員を派遣し、早期復旧に努めた。その対応実績と合わせて、ガス導管部門をメインとした、ガス業界の震災対策の方向性と、それを受けての広島ガスの震災対策及び保安活動について紹介する。

<昼食 (11:30～13:00)>

3. 「化学業界における成長戦略と強靱化について」(13:00～14:00)

経済産業省 製造産業局化学課 課長補佐 (企画調整) 宮下 正己 氏

本年 6 月、日本経済の再生に向けた「3本の矢」のうち 3 本目の矢である、成長戦略、「日本再興戦略 -JAPAN is BACK-」が閣議決定された。現在、経済産業省は、この新たな成長戦略の迅速かつ確実な実行を行うための取組を進めているところである。今回は、成長戦略の具体的な内容を紹介するとともに、合わせて化学業界の強靱化に対する取組の展望等についても報告する。

4. 「山口県の石油コンビナートにおける大規模自然災害への対策」(14:00~14:50)

山口県 総務部 防災危機管理課 産業保安班 主任 勢登 俊明 氏

山口県内の石油コンビナート等特別防災区域における事業所では、様々な事故や災害に対して、多面的な対策がとられている。その中でも、自然災害による事故・トラブル事例とともに、それらの対策事例を紹介する。また、現在、山口県が進めている地震対策等に対する取り組みとともに、今後の展望について紹介する。

<休憩 (14:50~15:00) >

5. 「危機、災害時を想定した人の育成」(15:00~15:50)

住友ケミカルエンジニアリング株式会社 特別顧問 石丸 裕 氏

自然災害や事故などの危機的な状況において、この限界状況を適切にマネジメントする人的要因と、個人としての能力の形成をどうするか、また、その人の判断やアクションを支える仕組みについて考える。

<休憩 (15:50~16:00) >

6. 「南海トラフ巨大地震が起これば、エネルギー関連でどのような問題が発生するのか」(16:00~17:00)

関西大学 社会安全学部 理事・社会安全研究センター長・教授 河田 恵昭 氏

西日本の広いエリアで甚大な被害が想定される南海トラフを震源とする巨大地震についてその特徴を解説し、化学系の企業はどう備えればよいのか、その対策と課題を説明し、「国難」が起これる時代に、ますます高まる企業の役割について講演する。

主催者閉会挨拶 (17:00~17:05)

<交流会会場への移動 (17:05~17:30) >

[交流会] (17:30~19:30) 親和荘 (三菱レイヨン株式会社 大竹事業所内 講演会場から徒歩5分) (図1参照)

参加費：講演会 3,000 円、交流会 4,000 円 (消費税込み)

*周辺に飲食店が多くないため、当日は昼食用にお弁当(約1,000円)を販売します。お弁当の要不要をご連絡ください。

申込方法：参加者氏名、勤務先、所属、連絡先(住所、電話、FAX、E-mail)、送金予定日、昼食弁当 要/不要、交流会 参加/不参加を明記し、電子メールまたは FAX でお申込み下さい。参加費は、現金書留または銀行振込(もみじ銀行西条支店普通預金 1058275 中国地区化学工学懇話会)をご利用下さい。お弁当は当日現金払いでお願い申し上げます。

申込締切：2013年11月8日(金)

申込先(問合せ先)：〒739-8527 東広島市鏡山1-4-1 広島大学工学部化学工学講座内 中国地区化学工学懇話会事務局

TEL (082) 424-7718, FAX (082) 424-5494, E-mail: ysasa@hiroshima-u.ac.jp